

シリアル類の輸出

グラノーラ人気で急増！爆買いからの爆輸出へ！
 ○2019年の近畿圏は数量・価額ともに前年比2.5倍で過去最高！
 ○2019年の全国は数量が過去最高！
 ○経済圏別の輸出シェアは近畿圏が第1位！

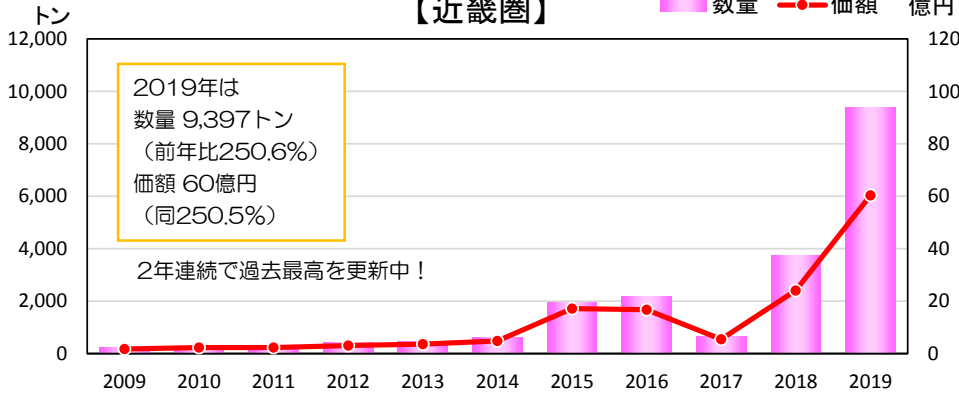
過去最高は1988年以降の比較

数量・価額推移

※「穀物又は穀物産物を膨張させて又はいって得た調製食料品」と「いってない穀物のフレークから得た調製食料品及びいってない穀物のフレーク」といつた穀物のフレーク又は膨張させた穀物との混合物から得た調製食料品」を言う。

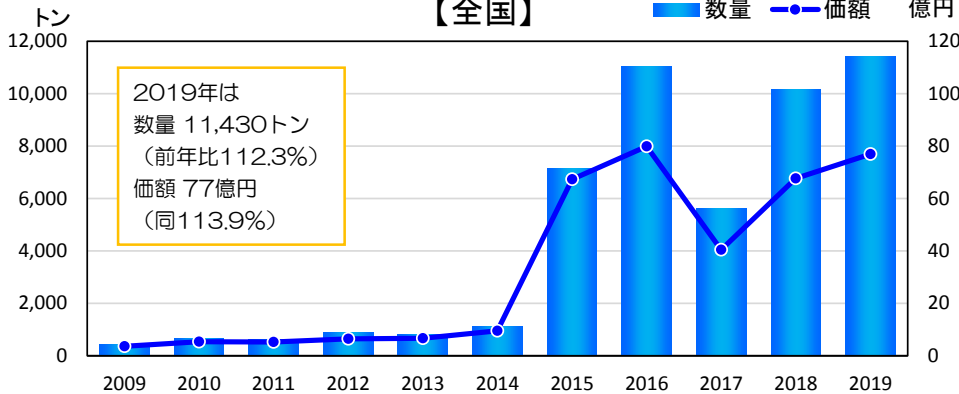
【近畿圏】

数量 価額 億円



【全国】

数量 価額 億円



あなたの好きな朝ごはんは？



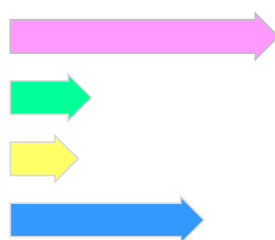
グラノーラや！
コーンフレークや！

経済圏別

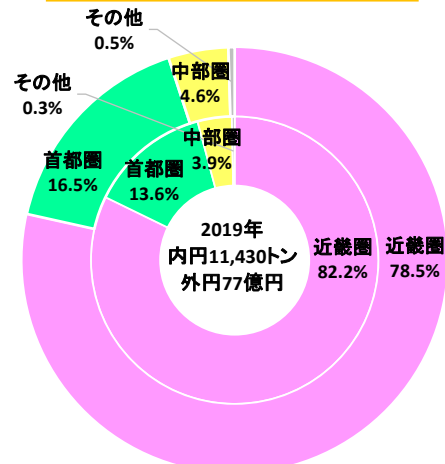
2019年の近畿圏は
2014年と比較して15.4倍！

2019年の近畿圏の全国シェアは
数量82.2%、価額78.5%

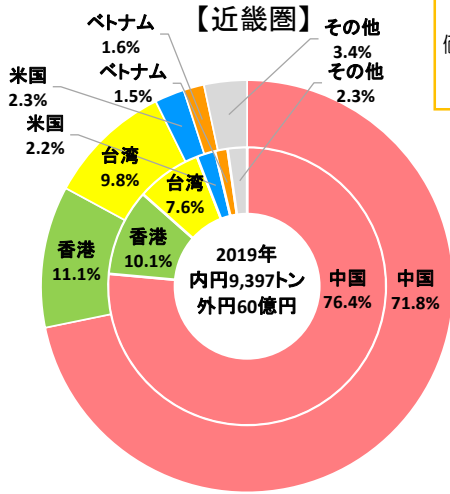
経済圏	2014年
近畿圏	610トン
首都圏	365トン
中部圏	123トン
全国	1,107トン



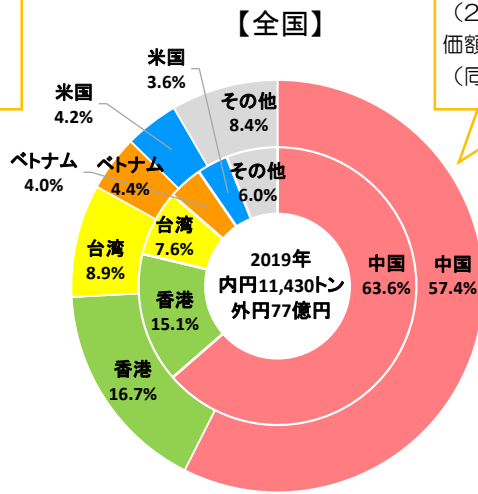
	対2014年比	2019年
近畿圏	15.4倍	9,397トン
首都圏	4.3倍	1,556トン
中部圏	3.6倍	441トン
全国	10.3倍	11,430トン



地域(国)別構成比



2019年の中国は
数量 7,183トン
(2014年比188.3倍)
価額 43億円
(同138.8倍)



2019年の中国は
数量 7,270トン
(2014年比143.2倍)
価額 44億円
(同102.2倍)

【背景】

業界によると、2015年頃からドラッグストア等で中国人訪日客によるグラノーラの爆買いが始まったとされています。味や栄養面に加え、安心安全な日本製シリアルへの信頼から中国で人気に火が付き、その後、メーカーが輸出体制を整え輸出も急増しました。
今後も、海外のシリアル市場の拡大から輸出の増加が期待されています。

データ集

推移

年	数量		価額	
	トン	前年比	百万円	前年比
1988	28	-	20	-
1989	31	110.0%	20	99.1%
1990	26	83.7%	21	109.2%
1991	27	104.5%	21	99.2%
1992	42	152.5%	33	156.6%
1993	48	116.0%	34	102.7%
1994	53	110.0%	36	106.5%
1995	39	73.2%	27	75.3%
1996	49	125.4%	36	129.6%
1997	58	119.0%	42	117.5%
1998	69	119.7%	51	122.5%
1999	53	76.6%	36	70.6%
2000	41	77.4%	25	69.7%
2001	36	87.3%	31	122.6%
2002	90	249.6%	68	219.9%
2003	58	64.5%	58	85.8%
2004	135	232.7%	79	136.2%
2005	150	111.5%	120	151.7%
2006	202	134.3%	225	186.8%
2007	299	148.3%	285	126.7%
2008	244	81.6%	206	72.3%
2009	214	87.9%	173	83.9%
2010	277	129.0%	226	131.0%
2011	249	90.0%	235	103.9%
2012	408	163.7%	305	129.7%
2013	465	114.1%	365	119.8%
2014	610	131.1%	485	132.9%
2015	1,942	318.3%	1,712	352.7%
2016	2,190	112.8%	1,675	97.8%
2017	647	29.5%	545	32.5%
2018	3,749	579.8%	2,411	442.4%
2019	9,397	250.6%	6,039	250.5%

年	数量		価額	
	トン	前年比	百万円	前年比
1988	74	-	50	-
1989	65	88.6%	44	87.5%
1990	53	80.9%	44	99.9%
1991	64	120.5%	53	120.1%
1992	108	169.9%	75	142.1%
1993	544	501.6%	225	300.1%
1994	589	108.3%	255	113.2%
1995	708	120.3%	305	119.5%
1996	782	110.4%	356	116.9%
1997	419	53.6%	225	63.2%
1998	145	34.6%	118	52.4%
1999	179	123.6%	124	105.2%
2000	142	79.4%	99	79.8%
2001	138	97.5%	106	107.5%
2002	197	142.0%	153	143.8%
2003	150	76.1%	123	80.5%
2004	270	180.4%	166	134.6%
2005	301	111.4%	222	133.7%
2006	359	119.5%	333	150.1%
2007	533	148.4%	474	142.4%
2008	469	87.9%	380	80.2%
2009	419	89.3%	353	93.0%
2010	645	154.0%	526	148.9%
2011	630	97.7%	517	98.3%
2012	867	137.7%	645	124.7%
2013	790	91.1%	664	103.0%
2014	1,107	140.1%	949	142.8%
2015	7,149	645.8%	6,724	708.8%
2016	11,033	154.3%	7,991	118.8%
2017	5,612	50.9%	4,044	50.6%
2018	10,175	181.3%	6,758	167.1%
2019	11,430	112.3%	7,695	113.9%

経済圏別

経済圏	数量		価額	
	トン	構成比	百万円	構成比
近畿圏	610	55.1%	485	51.2%
首都圏	365	33.0%	328	34.6%
中部圏	123	11.2%	127	13.3%
全国	1,107	100.0%	949	100.0%

【2019年】

経済圏	数量				価額			
	トン	構成比	前年比	2014年比	百万円	構成比	前年比	2014年比
近畿圏	9,397	82.2%	250.6%	1540.1%	6,039	78.5%	250.5%	1244.0%
首都圏	1,556	13.6%	95.5%	426.3%	1,269	16.5%	101.1%	387.0%
中部圏	441	3.9%	97.3%	356.7%	350	4.6%	88.7%	276.8%
全国	11,430	100.0%	112.3%	1032.5%	7,695	100.0%	113.9%	811.2%

2019年 地域(国)別構成比

国名	数量			価額		
	トン	構成比	前年比	百万円	構成比	前年比
中華人民共和国	7,183	76.4%	298.0%	4,335	71.8%	297.3%
香港	948	10.1%	100.6%	671	11.1%	106.8%
台湾	714	7.6%	403.0%	592	9.8%	494.7%
アメリカ合衆国	203	2.2%	420.3%	140	2.3%	275.5%
ベトナム	138	1.5%	439.5%	97	1.6%	406.3%
世界	9,397	100.0%	250.6%	6,039	100.0%	250.5%

【全国】

国名	数量			価額		
	トン	構成比	前年比	百万円	構成比	前年比
中華人民共和国	7,270	63.6%	118.8%	4,420	57.4%	115.7%
香港	1,730	15.1%	77.2%	1,286	16.7%	82.9%
台湾	874	7.6%	145.0%	681	8.9%	174.7%
ベトナム	461	4.0%	185.7%	337	4.4%	176.8%
アメリカ合衆国	414	3.6%	127.8%	325	4.2%	146.2%
世界	11,430	100.0%	112.3%	7,695	100.0%	113.9%

本資料の「シリアル類」は統計品目番号「1904.10-000」の「穀物又は穀物産物を膨脹させて又はいって得た調製食品」と「1904.20-000」の「いってない穀物のフレークから得た調製食品及びいってない穀物のフレーク」といった穀物のフレーク又は膨脹させた穀物との混合物から得た調製食品を合計したものです。

このグループは、小麦、米、大麦等の穀粒を加工した調製食品であり、乾燥した果実、ナット、砂糖、はちみつ等を含みます。これらは主に朝食用食品として用いられます。例えば、グラノーラ、コーンフレーク、ポップコーン、膨脹させた米 (puffed rice) クリスプサボリ食品等が含まれます。

(注1) 本特集における経済圏は以下の都府県を含むものです。

近畿圏：大阪、京都、兵庫、滋賀、奈良、和歌山の2府4県
首都圏：東京、千葉、神奈川、茨城、栃木、群馬、埼玉、山梨の1都7県
中部圏：愛知、岐阜、三重、静岡、長野の5県

(注2) 2019年は確報値、2018年以前は確定値

※本資料を他に転載するときは大阪税関の資料に基づく旨を注記してください。

※本資料に関するお問い合わせは大阪税関調査部調査統計課まで。
(電話06-6966-5385)

大阪税関ホームページ (<http://www.customs.go.jp/osaka/>)